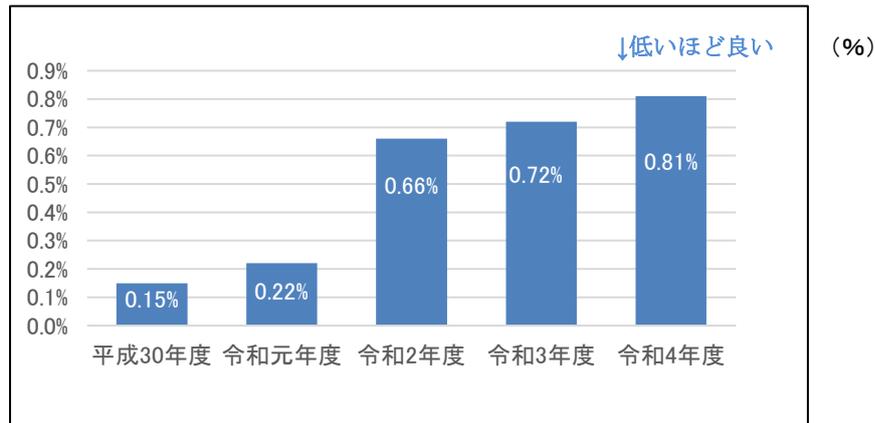


22 褥瘡発生率

○項目の解説

入院中に発生した褥瘡(床ずれ)は、患者のQOLを低下させ、入院の長期化につながることもあります。予防可能な褥瘡については、適切な診療やケアにより発生を回避できます。当該指標は予防への取り組みとその効果を示す指標です。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

褥瘡の発生は、平成元年度より増加傾向が認められています。

令和4年度は、新規褥瘡発生件数は 80 件、MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)発生件数は 37 件で、年々発生率が増加しています。主な発生要因は、褥瘡発生リスクが高い患者が多かったこと、マットレスの劣化や予防対策の不足が考えられます。これらの対策として、標準マットレスの一部更新やエアマットレスの追加購入・更新を行い、体圧分散マットレスの充実をはかりました。また、皮膚排泄ケア認定看護師が中心となり、適切な褥瘡予防管理に向け、体位変換、移動方法などを実演した教育用 DVD を作成し、全看護師・助産師が視聴して知識の習得に努めました。

引き続き、予防介入を徹底し、褥瘡発生率の低下に努めてまいります。

○定義

当該年度1年間での、褥瘡発生率(入院してから新しく褥瘡を作った患者比率(%))です。

自重による褥瘡以外、MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)も含めます。

○算式

分子: 新規褥瘡発生患者数

分母: 年間入院患者数